



2027年1月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 金子 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績 (2026年2月1日～2026年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	4,854	15.8	1,680	28.5	1,571	27.9	1,066	36.2	1,066	36.2	1,080	43.1
2026年1月期第1四半期	4,191	8.6	1,307	9.4	1,228	11.5	782	6.3	782	6.3	754	△1.5

	EBITDA※		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	2,173	23.0	44.14	43.52
2026年1月期第1四半期	1,766	11.0	32.46	31.95

※EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	39,678	18,288	18,288	46.1
2026年1月期	39,911	18,187	18,187	45.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期 (予想)	—	43.00	—	43.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年1月期の連結業績予想 (2026年2月1日～2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		EBITDA		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,600	10.5	6,800	14.2	6,500	15.6	4,400	16.3	4,400	16.3	8,600	9.3	182.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期1Q	24,200,260株	2026年1月期	24,133,560株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	80株	2026年1月期	80株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年1月期1Q	24,156,713株	2026年1月期1Q	24,115,323株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際会計基準を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) 2026年6月12日に当社ウェブサイト (<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>) に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり利益)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフツマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善などに伴い、緩やかな回復基調が続きました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響が懸念されるとともに、世界経済においては、欧州や中東における地政学的リスクの高まり、金融資本市場の変動、米国の政策動向に加え、日中関係の緊張等がインバウンド需要や国内外の消費動向へ影響を及ぼす可能性もあることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、「国内外における新規出店の推進」、「フレーム販売価格の見直し等を通じた一式単価の上昇」、および「多様化するインバウンド需要の着実な取り込み」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益4,854百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益1,680百万円（前年同期比28.5%増）、税引前四半期利益1,571百万円（前年同期比27.9%増）、四半期利益1,066百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

〔金子眼鏡〕

金子眼鏡グループでは、国内外におけるブランドの浸透に伴い、直営店舗での販売が引き続き堅調に推移いたしました。インバウンド顧客向け販売につきましても、訪日客層の変化に柔軟に対応し、安定的に推移しております。海外展開におきましても、アジア圏を中心とする直営店舗が現地のお客様から高い支持を獲得し、順調に推移しております。当第1四半期連結累計期間において海外で1店舗の新規出店を実施した結果、店舗数は95店舗（国内84店舗、海外11店舗）となりました。なお、2026年4月には中国5号店となる「金子眼鏡店 杭州恒隆広場」をオープンしております。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は3,434百万円（前年同期比20.3%増）、セグメント利益は1,385百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

〔フォーナインズ〕

フォーナインズグループでは、お客様の高い支持が継続しており、直営店舗での販売が順調に推移いたしました。特に、ブランド認知の向上と顧客接点の拡大に向けた国内直営店の出店強化を積極的に推進しており、当第1四半期連結累計期間において国内新規出店2店舗を実施した結果、店舗数は21店舗（国内20店舗、海外1店舗）となりました。また、国内卸売上につきましても、4月に実施した新型商品展示会等を通じて前年並みの水準を維持いたしました。一方で海外卸売上につきましても、一部の売上計上時期が翌四半期へ繰り越した影響に加え、協力工場からの一時的な納期遅延の影響も重なり、前年同期を下回る結果となりました。引き続き、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を目指し、コスト改善にも継続的に取り組んでまいります。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は1,419百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は383百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、39,678百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が723百万円減少、営業債権及びその他の債権が486百万円減少、使用権資産が647百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ333百万円減少し、21,390百万円となりました。これは主に、未払法人所得税が654百万円減少、リース負債（流動）が166百万円減少、リース負債（非流動）が826百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ100百万円増加し、18,288百万円となりました。これは主に、四半期利益1,066百万円を計上、配当金1,013百万円の支払をしたことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の連結業績予想につきましては、2026年3月13日に公表した数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,054	2,331
営業債権及びその他の債権	1,707	1,221
棚卸資産	2,416	2,602
その他の流動資産	161	156
流動資産合計	7,340	6,312
非流動資産		
有形固定資産	5,209	5,416
使用権資産	3,983	4,631
のれん	14,332	14,332
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	310	303
その他の金融資産	1,983	1,992
繰延税金資産	667	605
その他の非流動資産	187	188
非流動資産合計	32,570	33,366
資産合計	39,911	39,678
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	709	688
1年内返済予定の長期借入金	11,921	950
引当金	21	—
リース負債	1,237	1,070
未払法人所得税	1,055	401
契約負債	580	473
その他の流動負債	1,045	888
流動負債合計	16,570	4,471
非流動負債		
借入金	—	10,918
リース負債	2,446	3,272
引当金	51	52
繰延税金負債	2,154	2,174
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	5,152	16,918
負債合計	21,723	21,390
資本		
資本金	949	967
資本剰余金	7,535	7,556
利益剰余金	9,552	9,604
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	149	160
親会社の所有者に帰属する持分合計	18,187	18,288
資本合計	18,187	18,288
負債及び資本合計	39,911	39,678

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上収益	4,191	4,854
売上原価	857	1,001
売上総利益	3,334	3,852
販売費及び一般管理費	2,026	2,258
その他の収益	7	87
その他の費用	6	0
営業利益	1,307	1,680
金融収益	1	2
金融費用	80	111
税引前四半期利益	1,228	1,571
法人所得税費用	445	505
四半期利益	782	1,066
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	782	1,066
非支配持分	—	—
四半期利益	782	1,066
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	32.46	44.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.95	43.52

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期利益	782	1,066
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△27	13
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△27	13
税引後その他の包括利益	△27	13
四半期包括利益	754	1,080
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	754	1,080
非支配持分	—	—
四半期包括利益	754	1,080

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
2025年2月1日残高	943	9,602	5,769	—	106	16,421	16,421
四半期利益	—	—	782	—	—	782	782
その他の包括利益	—	—	—	—	△27	△27	△27
四半期包括利益合計	—	—	782	—	△27	754	754
剰余金の配当	—	△1,060	—	—	—	△1,060	△1,060
新株予約権の行使	3	4	—	—	△0	6	6
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	2	△2	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	3	△1,054	△2	—	△0	△1,054	△1,054
2025年4月30日残高	947	8,548	6,549	—	77	16,122	16,122

当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
2026年2月1日残高	949	7,535	9,552	△0	149	18,187	18,187
四半期利益	—	—	1,066	—	—	1,066	1,066
その他の包括利益	—	—	—	—	13	13	13
四半期包括利益合計	—	—	1,066	—	13	1,080	1,080
剰余金の配当	—	—	△1,013	—	—	△1,013	△1,013
新株予約権の行使	17	20	—	—	△3	34	34
所有者との取引額等合計	17	20	△1,013	—	△3	△979	△979
2026年4月30日残高	967	7,556	9,604	△0	160	18,288	18,288

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,228	1,571
減価償却費及び償却費	458	492
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	80	111
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	320	489
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△279	△183
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△61	△186
その他	96	△335
小計	1,842	1,957
利息の受取額	1	2
利息の支払額	△68	△79
法人所得税の支払額	△1,124	△1,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	650	813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△102	△214
無形資産の取得による支出	—	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△17	△6
敷金及び保証金の回収による収入	25	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	11,950
長期借入金の返済による支出	—	△11,950
リース負債の返済による支出	△341	△368
配当金の支払額	△1,060	△915
新株予約権の行使による収入	6	34
コミットメントライン関連費用の支払額	—	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,395	△1,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△872	△723
現金及び現金同等物の期首残高	3,931	3,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,059	2,331

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー（金子眼鏡、フォーナインズ）を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	2,854	1,336	4,191	—	4,191
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	2,854	1,336	4,191	—	4,191
セグメント利益	1,075	351	1,427	△119	1,307
金融収益	—	—	—	—	1
金融費用	—	—	—	—	80
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,228
その他の項目					
減価償却費及び償却費	315	135	450	7	458

(注) セグメント利益の調整額△119百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	3,434	1,419	4,854	—	4,854
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	3,434	1,419	4,854	—	4,854
セグメント利益	1,385	383	1,769	△88	1,680
金融収益	—	—	—	—	2
金融費用	—	—	—	—	111
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,571
その他の項目					
減価償却費及び償却費	348	132	480	11	492

(注) セグメント利益の調整額△88百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

(第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	782	1,066
四半期利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	782	1,066
加重平均普通株式数(千株)	24,115	24,156
普通株式増加数		
新株予約権(千株)	386	345
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	24,501	24,502
基本的1株当たり四半期利益(円)	32.46	44.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.95	43.52

(重要な後発事象)

該当事項はありません。